

外国人を雇用し、企業の持続的発展を目指す

昨今、人手不足対策の一つとして、会員事業所においても、国の「外国人技能実習制度※」を活用する事例が増えています。

今回は、令和2年2月から外国人10名を雇用している会員事業所の取組事例をご紹介します。

※「外国人技能実習制度」とは、開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的とした厚生労働省が定める制度です。

＼今回ご紹介する会員は…／

田中建設株式会社

創業	昭和56年9月
従業員数	114名(役員含む)
業種	建設業
所在地	三種町



代表取締役
田中 洋平さん

社長に一問一答!

Q どうやって採用しましたか。

A 知人から紹介された監理組合を通じて採用しました。

Q 雇用するにあたって苦労したことを教えてください。

A

- ・住居環境を整えるための出費があったことです。
- ・日本語が話せないため、コミュニケーションを図るのが難しかったです。
- ・生活習慣や文化の違いがあり、土足厳禁などの教育指導が必要でした。

Q 雇用してよかったですを教えてください。

A

- ・労働力不足の解消はもとより、職務に対する勤勉さが他社員にも好影響を与えました。
- ・自治会でのクリーンナップなど、地域との交流行事に参加してくれて、地域住民の外国人雇用に対する不安が解消されました。

Q 職場の雰囲気に何か変化はありましたか。

A

- ・朝、夕の挨拶が素晴らしく、日本人従業員の挨拶も増えました。
- ・コミュニケーションの機会が増え、よい雰囲気づくりにつながりました。



Q どのように仕事を教えていますか。

A

- ・外国人の中で日本語が得意な人が通訳して、仕事を教えています。
- ・月2回講師を招いて日本語教室を開講しています。日本語を理解してもらい仕事や生活でのトラブル防止に役立てもらっています。

Q 最後に「技能実習制度」について要望はありますか。

A

- ・技能実習生を雇用するにあたり職種ごとに資格の取得が必須ですので、県内に外国人実習生の資格取得のための講習場所を設置してほしいです。
- ・会社単独で技能実習生のために住居整備や、日本語教室を行っていますが、それに対する助成金や補助金を創設してほしいです。